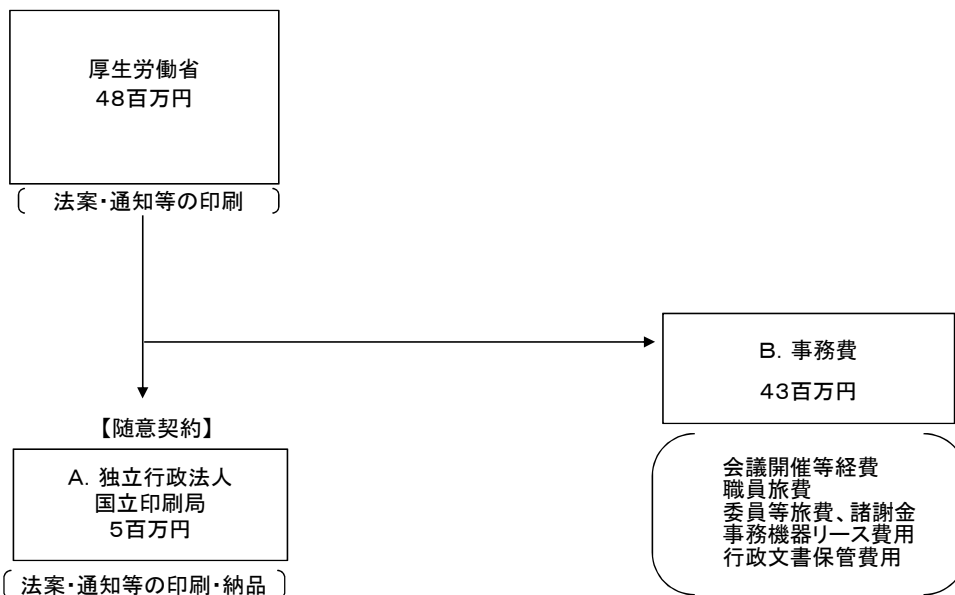


平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	医療保険制度改革経費			<b>担当部局庁</b>	保険局			<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	昭和40年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	総務課			大島 一博	
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること				
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	-			<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	・法律・政令等の法案の印刷及び制度改革資料を作成し、国民への制度改革内容等の周知の徹底、その他、保険局職員の円滑な業務を行うことを目的とする。								
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	・制度改革に伴う法律改正に係る法律案を作成し、印刷会社へ印刷製本を発注し、国会へ提出する。 ・保険局が主催主体となる検討会、有識者会議を開催する。								
<b>実施方法</b>	委託・請負								
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	43	37	48	71	53		
	執行額	42	29	43					
	執行率(%)	98%	78%	90%					
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-		
<b>定量的な成果目標の設定が困難な場合</b>	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績					
	法律・政令等印刷経費及び検討会等の会議開催経費のため、定量的な指標を示すことは困難。			法律・政令等が広く周知されることで、政策趣旨が国民に周知することで、ひいては医療保険制度の安定に資するものである。なお、24~26年度においては、概ね見込み通りとなっており、適正に執行することができた。					
<b>事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績</b>	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
	法律・政令案印刷件数	法律・政令等が広く周知されることで、政策趣旨が国民に理解され、ひいては制度の安定につながるものである	実績	件	10	8	8		
			目標値	件	10	10	10	-	
			達成度	%	100%	80%	80%		
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	法律・政令案印刷件数	活動実績	件	10	8	8			
		当初見込み	件	10	10	10	-		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	法律・政令案印刷1件あたり費用を算出(法律・政令案印刷費用/法令・政令案印刷件数)			単位当たりコスト	千円	328	254	512	-
				計算式	/	3,284/10	2,028/8	4,092/8	-
<b>平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)</b>	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	3	4						
	旅費	4	15						
	庁費	64	34						
	計	71	53						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	法律等の周知に要する経費であり、広く国民のニーズがある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国で行うべき事業は国が行い、会議の運営等可能なものは民間に委託している。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	法律案等の印刷は必須であり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	少額随契を除けば、一般競争入札により選定している	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	少額随契でも相見積もりをとり、最も少額な支出となるよう努めている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	真に必要な資料のみ印刷発注を行っている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	真に必要な資料のみ印刷発注を行っている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	概ね見込み通りとなっており、適正に執行することができた。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	真に必要な資料のみ印刷し、また相見積もり等により最少額となるよう努めている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績はほぼ見込み通りである。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	国会で使用される等、十分に活用されている。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	毎年度、事業の必要性を精査し、複数社の相見積もりを取った上で効率的に予算執行を行うことができています。			
	改善の方向性	今後も、事業内容を精査し、適切な予算執行に努めたい。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	28年度概算要求において、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	279	平成23年度	249	平成24年度	215
平成25年度	248	平成26年度	260		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位：百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で表情が  
 分かるように記  
 載)

A.独立行政法人国立印刷局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	法律案等の印刷	5			
計		5	計		0
B.株式会社ワンビシアーカイクス			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	行政文書の保管・集配	6			
計		6	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人国立印刷局	法律案等の印刷	5	少額随契	-
2	宮嶋印刷 株式会社	法律案等の印刷	4	少額随契	-
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ワンビシアーカイク ス	行政文書の保管・集配	6	少額随契	-
2	株式会社岡村製作所	電源・LAN等配線工事	4	少額随契	-
3	八重洲電気株式会社	電源・LAN等配線工事	2	少額随契	-
4	株式会社日立製作所	サーバ機器移設工事業	2	少額随契	-
5	東芝ソリューション株式会社	ネットワーク端末の増設・移設作業	2	少額随契	-
6					
7					
8					
9					
10					